



2022年12月号 (vol.105)

ひぐちん通信

ヒグチ鋼管株式会社 〒547-0001 大阪市平野区加美北 4-6-21

Tel:06-6791-7788 fax:06-6791-8588 代表取締役 樋口浩邦

◆面接でも嘘偽りなく◆

こんにちは、お世話になっております。ヒグチ鋼管代表の樋口です。ひぐちん通信第105号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、私たちの会社では毎朝、朝礼が5ヶ所で別々に行われており、私は各朝礼にローテーションで参加しています。

先日、その朝礼に参加した際、入社してまだ半年くらいの40代の社員とコミュニケーションを取ろうと思い、私からこんな質問をしてみました。「面接のときに聞いていた話と違うやないかとか、そういうことはない？」と。すると、その社員は笑顔で「ありません！」と答えてくれました。続けて、冗談半分で「それ、誰かに無理やり言わされてない？」と聞いてみると、「言わされてません！」と明るく答えてくれました。

もちろん、私は「聞いていた話と違う」なんて答えが返ってくるとは微塵も思っておりませんでした。ただ、世の中には、いざ入社をしてみたら、面接などで事前に聞いていた話と違うということが理由で退職をしてしまう人が少なくないと聞きます。会社側が人手不足でどうしても採用したいという気持ちから、いいことばかりを、それもだいたい盛って、時には嘘をついてまで伝えてしまっているのかも知れません。

その点、私たちは面接で会社のアピールをするときに、当然のことですが、嘘はつきません。ありのままをお伝えしています。

そして、特に私たちが求職者の方々に伝えているのが、『人の心を大切にする経営である人本経営』を実践していることです。嘘をついてまで入社を促すのは、人の心を大切にすることとは真逆になるので、そういうことは一切いたしません。

ところで、人の心を大切にする経営を実践していることを面接時に伝えると、一部上場の会社に勤務している30代の方でも「ぜひ働きたいです」と言ってくれます。

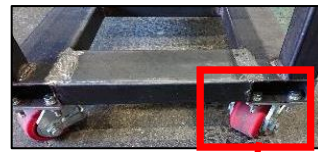
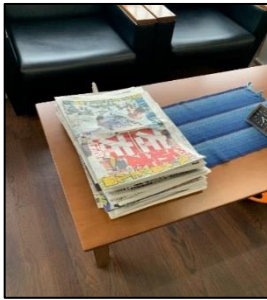
「給料下がると思うで」と伝えると「それでもいいです」と言います。

これからも人の心を大切にする経営である人本経営を実践していき、求職者に対しても嘘偽りなく、ありのままを伝えていきます。なお、来春には新卒の男の子が2名入社予定です。



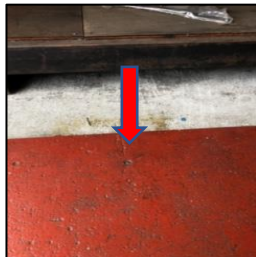
◆3S活動&業務改善情報◆

(整理・整頓・清掃)当社の取り組みをご紹介します。



①読み終えた新聞紙の置き場を受付台下に設置しました。新聞紙は梱包資材として現場で再利用します。by角谷、吉川

②原管移動用台車のキャスターを回転式で採用したが、左右に振られるなど進行が定まらないので、固定式キャスターに変更した。by辻、比嘉



③本社工場中央棟の床にあったアンカー跡を削り、躓(つまず)き転倒を防止しました。by青松、高村、藤井、角崎、森田



④パレット置場の表示が剥がれていたので、ラミネート加工で新しくしました。by岩井、桐井



⑤発行済み(伝票発行済)のお客様が事務所まで来ていただかなくても大丈夫なように、案内ポップを作成、事務所階段横に貼り付けました。by太農雄太

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうもありがとうございます！さて、10月の26日から29日まで大阪整形外科病院に入院していました。昨年2月に左膝の十字靭帯を繋ぐ手術をしたことは、以前、ひぐちん通信に書かせていただきました。そのときにネジを2本埋め込んでおり、今回、それを取り除く手術でした。担当してくれたのはスポーツ医学センター医長の松川哲也先生。手術も無事終わり、経過はとても順調です。ネジがなくなり、よりスムーズに膝を動かせるようになりました。樋口

【発行者プロフィール】

名前: 樋口浩邦(ひぐちひろくに) Eメール: hirokunister@gmail.com

誕生日: 昭和41年3月16日 出身地: 大阪市東住吉区

経歴: 関西大学卒業後、弊社の主要仕入先である丸一鋼販(株)に入社。名古屋営業所で5年間お世話になった後、当社に入社。平成13年7月に代表取締役就任し、現在にいたる。

趣味: 映画鑑賞 モットー: 『大丈夫! なんとかなる(´▽`)/』

